



B分科会 「地域に溶け込むには」

町内会主体の有償ボランティア開設までに、生活支援コーディネーターと共に関わった事例について

鹿屋市生活支援整備アドバイザー
NPO法人 隣の会 齋藤鈴子

九州・沖縄地区生活支援コーディネーター活動研究大会
平成30年8月28日

鹿屋市の概要

【位置】 鹿屋市は、本土最南端へと伸びる大隅半島のほぼ中央に位置し、大隅地域の交通・産業・経済・文化の拠点となっています。

【地勢】 市域北部には、日本の自然百選にも選ばれている壮大な高隈山系が連なり、市域北東部は山林地帯となっています。また、その南側には、国営第1号の畑地かんがい施設をもつ笠野原台地や肝属平野が広がり、市域中央部にかけて平坦地が続いています。市域西部は、錦江湾に面しており、美しい海岸線が見られ、さらに、市域南部は、神代三山陵の一つである吾平山上陵を有する山林地帯となっています。

【面積】 総面積：448.33km²

【人口】 103,645人
高齢化率 28.34%
(H30年6月末現在)



KANNOYA City
KAGOSHIMA JAPAN

泉ヶ丘町内会の概要

◎泉ヶ丘町内会人口－577人
高齢化率－23.74%（137人）

※参考；泉ヶ丘市営住宅 人口－172人
世帯数 120人
高齢化率－31.98%

【平成30年6月末 現在】



きっかけは

平成27年に泉ヶ丘町内会で
独居高齢者の孤独死が発生



同年、住民が見守りを行う
泉ヶ丘ふれあい隊を結成



平成29年7月アンケートを
実施。有償ボランティアの
ニーズが多いことが分かる

20回以上協議を重ね



生活支援コーディネーター
が根気強く支援した結果、
泉ヶ丘きばいもんそ会開設



見守り隊活動で気づいたこと

- ・見守り隊員（男10名女5名）で対象利用者（20代～80代）24名の見守りをしている。
- ・月1回公民館で集まり見守り隊報告会をして対象者の日常の把握等を共有している。
- ・ゴミだしで困っている、買い物に行くのが大変等、ちょっとした困りごとを聞くようになった。
- ・「なんとかせないかん」生活コーディネーターに相談



アンケート調査（H29.7）

***生活の困りごとに関するニーズ調査**

50名中46名の回答（個別訪問）

- 困っていること手伝ってほしいこと、
- 有償ボランティアを利用したいか、
- 謝礼金の金額は？等

***結果、見守り隊の皆さんを中心に
どうすればいいのか悩みながら
SCと検討を重ねる。**



苦勞したこと (住民の理解)



これまで好意で支え合
い活動をしてきたけど、
お金をとるの？



「ちょっとした困りごとを出来る範囲でお手伝いしただけなのに、たくさんお礼をいただいて、かえって気を使ってしまった。」など、

SC：次世代になっても継続できるようにする仕組み作りが大事だということを度々伝えていった、その為に気軽に助けてと言える、助ける側にも気を遣わないで済む仕組みが有償ボランティアであることを伝える。

苦勞したこと (支援内容)



何をしたい？
何ができる？



支援内容について、したい支援、できる支援について協議したが、なかなか発言が...

SC：支援者側の登録書類の中の「お手伝いできること」を書いてもらうと、できる支援がたくさん。
最終的に12項目にまで！

支援内容

金額	時間の目安	お手伝いメニュー
300円	30分程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出し（月単位） ・おかずの提供 ・簡単な裁縫 ・電球交換、電化製品の取扱い ・屋内の家具の移動（1人当たり） ・書類の代読・代筆 ・簡単な掃除
600円	1時間程度	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な庭仕事 （草取り、水まき、種まき・定植等） ・簡単な剪定 ・簡単な大工仕事 ・病院付き添い ・話相手、子守り

※事前にたすけあい券の購入が必要

※会費（初回のみ）

- ・町内会員 300円
- ・町内会員外 600円



生活コーディネーター心構え

- 笑顔で出向いていく。
 - 回数を重ねて名前を覚えていただく。
 - 地域の資源を知る。
 - 話し合いの内容の整理をする。（次回伝える）
 - 失敗を恐れない。
 - 目標を決めて共有する。
- ＊会を重ねることでお互いの共有課題が整理でき信頼関係ができる。
- ＊「活動をしたい」を応援する。



きばいもんそ会開所式



きばいもんそ会開所式



仕組みが定着までは
関係者の皆さんの協
力がまだまだ必要！
これからの活躍を
温かく見守って
下さい！

